

研究実施のお知らせ

2025 年 8 月 8 日 ver.1.0

研究課題名

CT 検診における閉塞性換気障害検出率に関する後方視的調査

研究の対象となる方

1) 2009 年 4 月から 2025 年 3 月までの間に JA 島根厚生連の胸部 CT 検診を受けた方。

研究の目的・意義

2009 年より、島根大学医学部附属病院呼吸器・化学療法内科と JA 島根厚生連（JASKLCT グループ）では、肺がんおよびその他の呼吸器疾患の早期発見を目的として、低線量 CT による胸部 CT 検診を実施しています。

これまでの報告では、CT 検診で肺気腫を認めたとした場合、約 25% の頻度で閉塞性換気障害がみられるとされています。しかし、CT 所見に加えて呼吸器症状も含めたうえで「要精密検査」と判定した場合、その後の精密検査でどの程度の頻度で閉塞性換気障害が確認されるかは明らかになっていません。

一般的に、低線量 CT 検診は肺がんの早期発見を目的としていますが、当グループでは肺がんに限らず、他の呼吸器疾患が疑われる場合にも「要精密検査」として結果を返却しています。たとえば、CT で気腫性変化を認め、呼吸器症状もある場合には慢性閉塞性肺疾患（COPD）が疑われるとして、精密検査を勧めています。

当科では、一般健診受診者を対象に後方視的調査を行い、年齢・喫煙歴・労作時呼吸困難・発作性呼吸困難の有無から 1 秒率（FEV1%）を推定できることを報告しています。ただし、当院で実施している CT 検診では発作性呼吸困難については調査していないものの、年齢や喫煙歴に加え、その他の症状についても聴取しています。

そこで本研究では、CT 画像所見と症状の両方を組み合わせることで、既報よりも高い頻度で閉塞性換気障害を検出できるかどうかを検討することにしました。

すでに「胸部 CT 検診データを活用した呼吸器疾患早期発見のためのデータベース構築」（研究等管理番号 20250515-1）として当院の倫理委員会の承認を得てデータベースの作成を行っています。本研究ではそのデータベースを使用し検討を行います。

研究の方法

1) 研究実施期間

2025 年 11 月 10 日から 2027 年 3 月 31 日

2) 研究方法

CT 検診を受けられた方のうち、COPD 疑いと判断された方が精密検査で呼吸機能検査を実施された際の結果を調査します。

3) 使用する情報

既存のデータベースから次のデータを収集します。

- 1) 受診者の年齢、性別
- 2) CT 検診受診日
- 3) 要精密検査の有無
- 4) 精密検査受診の有無
- 5) 精密検査受診日
- 6) 疑い疾患
- 7) 最終診断
- 8) 精密検査結果（要治療、要精査、経過観察、異常なしなど）
- 9) 喫煙歴
- 10) 問診表に記載された症状
- 11) 一秒率
- 12) CT 画像

4) 情報の保存

本研究に使用した情報は、研究結果の最終報告を行ってから 10 年間保存いたします。なお、保存した情報は本研究のみに用い、他の目的では使用しません。

5) 研究計画書の開示

あなたのご希望があれば、個人情報保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧することができますので、お申し出ください。

6) 研究成果の取り扱い

この研究の成果は、学会や論文で発表する予定ですのでご了解ください。

研究組織

研究責任者

島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科 沖本 民生

情報の利用停止

本研究ではだれの情報が分からない形で収集されますので、情報の利用停止の申し出には応じられません。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科 沖本 民生

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2580 FAX 0853-20-2581